# 平和のバトン 子どもにどう渡す

戦後75年。戦争体験者が減っていくなか、平和を学び伝える形も変わりつつあ る。戦後生まれの親や教師に育てられた大人(第3世代)から、今の子どもたち (第4世代)へ。「平和のバトン」はどう手渡せばいいのだろう。

ところが、

そうした流れを

1968年生まれ。 兵器廃絶国際キ

フハーフ (TCA N) 国際運営委 員、ピースボート 共同代表



## 平和学習をめぐる主な動き



71 「東京大空襲を伝える会」結成 73 週刊少年ジャンプで「はだしのゲン」連載開始 75 沖縄県が平和祈念資料館開館

ベトナム戦争終戦

80年代 地方自治体による非核宣言運動広がる

89 冷戦終結宣言

10代の若者も 戦争に巻き 込まれて

いたんだなあ

資料保存のための平和資料館の開設相次ぐ

91 湾岸戦争始まる

95 戦後50年。戦争体験継承の担い手が課題に

98 核兵器廃絶の願いを国連に届ける「高校生平和大使」始動

ひめゆり平和祈念資料館、非体験者の語り手育成など「次世代プロジェクト」開始 広島の高校生、被爆者の体験を聞いて描く「原爆の絵」制作開始

1962年生まれ。教 育学。編著に「平和

**10** NHK「戦争証言アーカイプス」開設

ネット上の地図に被爆証言や写真を記録した「ナガサキ・アーカイブ」公開。 翌年には「ヒロシマ・アーカイブ」も

外部の優れた試みとも連携

戦争の加害行為は、

13 広島市、小中高12年間の平和教育で使う「ひろしま平和ノ・ 15 ヤフー「未来に残す 戦争の記憶プロジェクト」開始

高校や大学でVR(仮想現実)や3D映像で原爆被害を再現する試み

「戦後世代の語り部」国が育成へ 昭和館など3施設で募集

17 国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」にノーベル平和賞

長崎市、平和教育の柱(被爆体験の「継承」と平和の「発信」)に「創造」追加

コロナ禍でも被爆の実相を世界の若者に伝えようと、

ICANが広島と長崎の資料館から生配信

面まで学べば、重層的な理解につなが令に背けなかったという被害者的な側 映像を通し、フィリピンの人との和解 日本軍のアジアでの行為が教材にもな 近年は生徒らが被爆者への聞き取りを 心の中で再構築させる工夫が必要だ。 人戦は遠い過去の歴史にすぎない。 今の日常につながる出来事として、 そんな元日本兵の苦悩を告白する 今は平和学習や社会の授業で加害 と非難する動きが現れ、2000 90年代には歴史教科書にも出て トラウマになる子どももいる。 ▽原爆の絵を描く▽∨R 80年代には南京大虐殺や旧加害はどう教えられてきた 方的に伝えても現実感が持 試みも出てきている。 人の人間が命 -化する-第2次世界 自虐 子

で白黒写真をカラー

再現映像を作る▽AⅠ

**竹内久顕さん**(東京女子大准教授)「被害も加害も 重層的理解を」

といった面白い 知能)

川崎 哲さん(ICAN国際運営委員)「国際的視点 採り入れて」

てず、 争の話を

今の小中学生にとって、

爆体験や沖縄戦の被害を聞くことが平 自分たちの歴史的な文脈を生かしなが 和教育と呼ばれてきた。 域によって「平和」 独立の主張を抑える意味で理解される 独りよがりな日本流では世界で通用し ンなど核被害の広がりを考えてきた。 これまで日本では いかに国際的な視点を採り入れら 我々が核廃絶を世界に訴える際 、ビキニ、 の意味も変わる。 このように国や地 平和

広島や長崎の被 カザフスタ いる。 だが

行動する人々のダイナミックな 世界の問題を自分事として実 継承 外

禍による旅行中止は残念だが、語り部に会える機会も減った。 ナを機に完全に止まってしまう方が危 若者を中心に海外旅行などでも てわかる空気感や熱量がある。 時間を延ばせるかもしれない にパソコンを開けば体験者とつながっ 当に少なくなった。 て講話を聞けるという試みも生まれて 紛争地や戦跡に行き、現場で初め 1945年の終戦当時を知る人は本 技術を活用すれば、 何でもオンラインで済むわけ 傾向があったが、それがコロ トの活動のよう 。近年は 0



家族や友人を

失った。戦争は二度と

ごめんだね

第世代

両親や学校の

よく戦時中の話を 聞いたよ

むらかみ と し ふみ **村上登司文**さん(京都教育大教授)

体験のない私が

次世代に 伝えられることは 何だろう

手教員(第3世代)が多数を占める。 員(第2世代) いても、 路にある。今の小中学生は「祖父母が 校で語り継ぐ従来型の平和学習は岐 16年には「テレビ た。平和教育に熱心だった中高年教 戦前生まれの教員の大半が退職し 祖父母が体験者(第1世代)で生きて 伝え手の変化は意識調査にも表れ 今はユーチューブなど動画サイ 先の戦争の話を誰から聞いた 1997年から全国の中学生に には「テレビ」が78%と逆転しが77%と最も多かったのが、 会って話を聞ける例は少な 2006年には の引退も進み、 信頼性などの面では

のも日本だけだった。 争」論には最も賛成が少なく、「ど があると思うかを尋ねた「正義の戦 の戦 いえる。 なく、 る意義がある。子ども同士が考え、る試みも、生身の人間が思いを伝え を育むこと。 んな戦争にも反対」 6割と多かった。 今後の鍵はネット上の豊富な証言 当事者意識

を重んじる傾向から 世界はどうか。 戦争の話は教師任せだったと ドイツ、イスラエルでは歴史 日本の平和意識は4 日本では2割と少 が8割を超えた 「父母」

最近の取り組み Π

国を守るよい戦争(正義の戦争)が あるという意見についてどう思うか?



### 第2次世界大戦の継承は誰から?標

カン人 ビット 八千人 V NE 小 いる 正 グ つ : 複数回合			
日本		イスラエル	
テレビ	77.9%	先生や教育者	89.7%
先生	56.0	父や母	83.8
祖父母	36.5	テレビやラジオ	76.9
インターネット	35.9	祖父母	70.1
被爆者	28.4	ホロコーストの 生存者	65.0
	調査年は日本2016年、イスラエル18年、英国07年、ドイツ09年。 調査と年表は京都教育大学 村上登司文教授による		

## 平和学習どうだった?~#ニュース40 10~20代の100人が回答~



戦争をテ マにした作品で



・永遠の0 ・さとうきび畑の唄

•硫黄島からの手紙 •この世界の片隅に ちいちゃんの かげおくり

◆この特集は、識者談話を西村悠輔 ほかに阿部朋美、三島あずさ、デザ インは花岡紗季が担当しました。